

NextChallenge 高田製薬の挑戦

# ジェネリック医薬品の普及が健康保険制度を維持します

国の医療費抑制政策の中で、ジェネリック医薬品の使用が推奨されている。しかし、国が2007年に策定した「12年度までに数量シェア30%以上」という目標には、いまだ達していない。この現状について横浜市総合保健医療センター・診療部課長の有山良一氏は「ジェネリック医薬品に対する偏見がある」と指摘し、「質の高いジェネリック医薬品を見極める目を持つことが必要」と訴える。



薬剤師  
横浜市総合保健医療センター診療部課長  
日本ジェネリック医薬品学会理事

有山良一氏

**服用しやすい**

- ①小さな錠剤
- ②速崩壊錠
- ③苦みが少ない
- ④味が甘くて良い風味
- ⑤水なしで飲める錠剤やフィルム状の薬

**管理しやすい**

- ①適切な希釈済みの注射液
- ②保管場所の制限がない(冷蔵庫保管でなくよい)
- ③扱いやすいバイアルやプラスチックアンプル
- ④医療ニーズにあった少量の錠剤や大容量注射液
- ⑤一回分毎の使い切り包装
- ⑥乳児の誤飲防止策がしてある包装

**先発医薬品を改良した付加価値製剤(アドバンスジェネリック)**

**分かりやすくして間違えない**

- ①錠剤やカプセルに印刷してある
- ②特徴ある色や形
- ③ラベルの表示が見やすく間違えない
- ④包装シートに薬効や服用法が印刷してある

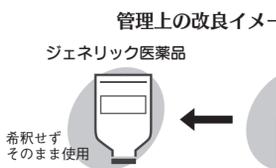
**製剤の工夫が可能 安価以外の魅力も**

「ジェネリック医薬品」といふ言葉は一般に「安い」というイメージが強い。製薬企業が開発した新しい成分の医薬品を先発品と呼ぶのに対し、特許が切れた後に同成分で作られた医薬品を後発品、あるいはジェネリック医薬品の使用

ジェネリック医薬品といいますが、先発品に開発した必要のないので価格も高くなるが、ジェネリック医薬品は製剤開発に生産費を削減することで、効き目も同等であることから、医療費を削減せずに医療費を削減することが可能となり、使用が推奨されています。

### 様々な付加価値で高い安全性を目指す

「言葉の普及に比べて、日本で実際の使用率は欧米諸国に比べて低いです。私が国で本格的にジェネリック医薬品の使用促進の取り組みが始まって10年くらい、医療費の実績も20年くらい、医療者も国民もまだ慣れていないという面があります。また、医師にも患者さんにもまだに偏見があり、「安かろう悪かろう」というイメージが根深いことと一因です。



「有山先生は価格面だけでなく、先発品よりも後発品の方が優れているものもある」という考えで、ジェネリック医薬品の使用を促進してきたそうです。医薬品を成分と製剤(外形)に分けて考えた場合、先発品は成分としては新薬性がありますが、製剤としては完成品ではありませぬ。新薬開発と同時に新製剤を開発を行うことは一般に困難といわれています。一刻も早く上市するた

めには、製剤開発に時間をかけられず、先発品と同じように決定して発売した名称や剤形パッケージデザインは、先発品と異なる必要があります。ところがジェネリック医薬品の場合、先発品が何年も使用された経験が踏まえた上で、様々な製剤的な工夫が可能です。識別性、医療者の使いやすさ

患者さんの飲みやすさなどを考え、医薬品を確実に安全に使用できるようにそれぞれのジェネリックメーカーが様々な取り組みをしています。このように、同じ成分の医薬品に新たな製剤で付加価値を付けた製剤を、私たちはアドバンスジェネリックと呼んでいます。

「付加価値とは、具体的にどのようなものですか。製剤の付加価値としての第1は、識別性です。製剤そのものや薬の包装シートに、その薬が何の薬なのか良くわかるような表示の仕方をし、他の薬と間違え

「患者さんの声を聞き 良いものを選び」

「ジェネリック医薬品を今以上に普及させるためには、メーカーがさらに付加価値の高い製剤を開発することが大切です。すでに付加価値の高いジェネリック医薬品は多くありますが、メーカーはこれからも努力が必要です。そのためには製剤師の役割も重要です。医師が使いやすいたいでなく、患者さんの声をよく聞いてメーカーに伝えることも必要です。ジェネリックメーカーが切磋琢磨して良い製剤を作り出せば、先発品メーカー

「への良い刺激にもなるはず」

「高齢社会の進展で日本の医療費は今後も増加していくことが予想され、ジェネリック医薬品の役割も大きくなります。我が国の健康保険制度は非常に優れたものですが、財政的に危険な状況にあることも事実です。だからといって、なんでもジェネリック医薬品にしようというのではなく、ジェネリック医薬品の中でも良質の医薬品を受け入れる。この制度を守るためにも、偏見にとりまわれないで、安価で良いものを使っていることを期待しています。

広告 企画・制作=日本経済新聞社クロスメディア営業局

患者さんのために  
もっと飲みやすく、ずっと使いやすく。

**TAKATA**

安心品質 安定供給 安全情報

「タカタ」のジェネリック医薬品には、3つのAがあります。

日本経済新聞広告企画で、『健やかナビ』を連載中  
健康な毎日を送っていただくためのワンポイントアドバイス

高田製薬 www.takata-seiyaku.co.jp  
〒331-8588 埼玉県さいたま市西区宮前町203-1  
TEL:048-622-2626【代表】